# 令和８年度　第３回市長定例記者会見
# 市長あいさつ及び説明要旨

令和８年１１月２０日

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。また、平素から本市の施策推進に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、１０月２４日、真庭市において開催された、 第８１回岡山県畜産共進会において哲多和牛牧場が出品した「ももおかみつ１号」がグランドチャンピオンに、また、新見高校が出品した「いなてるひめ号」が優等主席（ゆうとうしゅせき）を受賞され、２年ぶりとなる本市の団体優勝に大きく貢献いただきました。

これは、日々、飼育農家の皆様や関係機関が協力し、和牛改良や育成技術を磨いてこられた努力の賜物（たまもの）であり、大変嬉しく感じております。

また、１０月１２日まで開催された「おかやまハレいろキャンペーン２０２６（ニセンニジュウロク）」の主要イベント「ｍｔ（エムティー）プロジェクト新見」においては、期間中に約１万人以上の方にご来場いただきました。このイベントを通じて、市外の方へも本市の魅力を周知することができ、来年秋に開催される「森の芸術祭晴れの国・岡山２０２７（ニセンニジュウナナ）」への誘客に繋（つな）がる効果があったものと考えております。

スポーツの分野におきましては、１０月２３日から青森市において開催された「第２５回全国障害者スポーツ大会」の陸上競技に、本市から宮田賢二（みやたけんじ）選手、赤岩稔（あかいわみのる）選手、妻木和正（つまきかずまさ）選手が出場され、合計４個の金メダルと２個の銀メダルを獲得されるというすばらしい成績を収められました。

また、明日から北九州市において開催される「第６回世界身体障害者野球大会」に、日本代表チームの主将として、槇原淳幹（まきはらじゅんき）選手が出場されます。世界一を目指して頑張っていただきますよう、市民を代表して心から声援を送りたいと思っています。

国際大会や全国大会という大舞台で活躍されている選手の皆様の姿は、本市におけるスポーツ活動に活力をもたらし、地域に夢と希望を与えていただいております。

出場された選手の皆様、関係者の皆様に感謝を申し上げるとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

次に本日の発表資料の説明の前に、まず、市長就任から２年の間に、私が取り組んでまいりました主なものにつきまして、項目ごとに申し上げます。

私は、本市の諸課題に対し解決や道筋を付けるため、「千日改革」をスローガンに「共に生きる優しいまちづくり」、「少子化対策」、「安全・安心なまちづくり」、「地場産業の育成」、「有言実行の市政」この５つを公約に掲げ、市民の皆様の暮らし

と安心を守るため、全力で取り組んでいるところであります。

まず「共に生きる優しいまちづくり」につきましては、高齢者をはじめ、車を運転できない方々が安心して外出するための移動手段として取り組んでおります乗合タクシーにつきまして、１１月２日から、新見東部地域においての実証運行を開始し、予定しておりました全ての運行エリアでご利用いただけるようになりました。

今後も、市民生活を支える基盤の充実を図るとともに、地域のつながりを維持するために、利用しやすい乗合タクシーの運行に努めてまいります。

次に「少子化対策」につきましては、子どもたちが健やかに成長でき、保護者の皆様が安心して働き続けられる環境づくりを進めております。

その取組の一つとしまして、放課後児童クラブを公設民営方式（こうせつみんえいほうしき）へ移行し、放課後児童クラブ運営の民間委託を来年１月から開始いたします。

施設の設置・整備を本市が担いながら、運営は民間事業者などの専門性や柔軟性を生かすことにより、放課後における子どもたちの安全・安心な居場所を確保するとともに、保護者の皆様の就労と子育ての両立を支えるサービスの充実を図ってまいります。

次に、「安全・安心なまちづくり」につきましては、救急搬送体制の充実と、各種災害への対応力強化（たいおうりょくきょうか）を目的に整備を進めて

おりました西方ヘリポートが完成いたしました。

今後も、市民の皆様の生命と暮らしを守るため、災害対応力のさらなる向上を図り、安全・安心なまちづくりを着実に推進してまいります。

また、公共交通の充実といたしましては、市街地循環バス「らくるっと」の利用状況や地域のニーズを踏まえ、２台体制の実現により、運行エリアの拡大と利便性の向上が図られました。

今後も市街地循環バスを含む公共交通の利便性を高め、誰もが安心して移動できる、住みよいまちづくりを進めてまいります。

次に「地場産業の育成」につきましては、地域経済の活性化と交流・関係人口の拡大に向け、産業振興と観光振興を一体的に進めていく必要があると考えております。

近年、観光客の価値観や旅行形態は多様化しており、自然や歴史、文化、食など、地域ならではの体験を求める観光ニーズが高まっております。

この状況を踏まえ本年度、観光地経営戦略の策定に着手し、これをもとに観光ニーズを的確に捉え、滞在時間の延長や周遊促進につながる観光コンテンツの充実を図ってまいります。

特に、来年度に開催される「森の芸術祭」は、本市の豊かな自然や文化、地域資源を国内外に発信する絶好の機会であり、訪問者の利便性を高めるため「満奇洞へのアクセス道整備」に着手いたしました。

なお、本事業費は、国庫補助金や、財源負担の少ない有利な

地方債を活用することとしております。

「森の芸術祭」を契機として、多くの皆様に本市を訪れていただき、地域の魅力を体感していただくことで、観光振興はもとより、宿泊、飲食、交通、特産品など、幅広い産業への経済効果につなげ、活力あるまちづくりを進めてまいります。

最後に「有言実行の市政」についてですが、まず、私の給料の３割カットを１月以降も継続いたします。そして、その減額相当額を障害者福祉基金に積み立ててまいります。

障害者就労継続支援事業所の活動を支援するための経費にこの基金を充てており、これまで３事業所に空気清浄機、発電機、農機具、電話交換機などを整備しております。

今後もこの基金を効果的に活用し、市内事業所が安定して事業を継続できるよう、必要な支援を行ってまいります。

なお、私の給与に関する条例につきましては、本議会に提案しております。

次に、私の公約である「スクラップ and ビルド」で事業仕分けを進めるため、本年度「行財政改革推進委員会」を設置しました。

今後は、事業の必要性や効果を検証し、優先順位を明確にしながら、事業の見直しや業務の効率化を進めてまいります。

引き続き、市政の推進に全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

次に、本日の発表資料といたしまして、テレビ番組公開収録実施事業についてであります。

皆様に親しまれているテレビ番組「開運！なんでも鑑定団」の公開収録を、来年５月に実施いたします。

認知度が高く、集客効果が大きい全国ネットの番組を誘致することで、本市の魅力を全国に発信するとともに、市民参加型の企画を通じて地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。

この機会に、是非多くの皆様に鑑定品の出品をしていただくとともに観覧にお越しいただきたいと思います。

その他、今議会では、条例１３件、予算８件、その他６件を提案いたします。

令和８年度一般会計補正予算では、総額５億４，０３３万９千円を増額しております。

私からは以上であります。